課題「インターネット社会の現状」レポート

社会学部社会学科情報技術専攻

SY005678　富士　通子

情報化の進展とインターネット社会

1. パソコンの普及

現在では、一般家庭をはじめ、企業や自治体にもﾊﾟｿｺﾝが普及している。パソコンの普及により、手作業では難しかった大量の情報やさまざまな種類の情報を扱うことができるようになった。企業や自治体などでは、情報の共有や事務処理の効率化が進んでる。

パソコンの普及による主なメリットは、次のとおりである。

* ホームページの閲覧
* メールの活用
* グループウェア[[1]](#footnote-2)やイントラネット[[2]](#footnote-3)などを利用した情報の共有
* アプリケーションの活用

1. 一般家庭におけるﾊﾟｿｺﾝの普及率

一般家庭におけるパソコンの普及率は年々上昇している。平成11年は29.5%だったのに対し、平成16年は65.7%である。[[3]](#footnote-4)

1. インターネットの普及

パソコンが普及するにつれてその使用方法も進化し、現在ではインターネットを利用した情報収集や情報伝達をメインにパソコンを使用しているケースが目立つ。

インターネットが広く利用されるようになった理由には、次のようなことが挙げられる。

* インターネットで公開されている世界中のホムページから情報収集ができる。
* ホームページを介して組織をPRすることができる。
* メールを利用した迅速な情報伝達ができる。

1. インターネットの利用者数

日本におけるインターネットの利用者数は年々上昇し、平成16年には7,948万人、人口普及率は62.3%である。[[4]](#footnote-5)

日本における自動車運転免許の保有者数は、平成16年末時点で約7,825万人。身分証明書の代名詞ともいえる運転免許の保有者数と同レベルまで増加したということは、インターネットが生活必需品になったといえる。

1. インターネット社会

日常生活において、インターネットはなくてはならない存在となりつつある。日常生活とインターネットが密接に関連した社会を「インターネット社会」という。インターネット社会の現状を正しく理解し、時代の変化に対応しながら実社会と共存させていく必要がある。

1. インターネット社会での問題点

インターネット社会では、実社会とは異なり“相手の顔が見えない”“匿名性が高い”という特徴がある。これは一見手軽で自由な社会であると捉えがちである。しかし、その反面、IT(Information Tecnology)化が進むにつれ、ネット詐欺や情報漏えい、ウイルス感染、知的財産権侵害などのさまざまな問題が発生している。これは、インターネット社会の規範となる明確なルールが整備されるよりも早く、インターネット社会が発展したことに起因する。また、インターネット社会の利用者に対しての教育が徹底されていないことも一因である。したがって、インターネット社会の利用者ひとりひとりが、正しい知識を身に付ける必要がある。

1. メール、スケジュール管理、会議室予約などの機能を持ち、組織内の作業の効率化や情報の共有を行うためのソフトウェアのこと [↑](#footnote-ref-2)
2. インターネットで使用されている技術を用いて構築された、組織内ネットワークのこと [↑](#footnote-ref-3)
3. 内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査」より [↑](#footnote-ref-4)
4. 総務省「平成16年通信利用動向調査」より [↑](#footnote-ref-5)